
Blanche espere -**白の希望**-

柴健

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Blanche esperre - 白の希望 -

【Nコード】

N2700BA

【作者名】

柴健

【あらすじ】

病弱な少年は、若くして病によりこの世を去る。

しかし、少年は神によって新しい世界で生まれ変わる。

少年が好きだったキャラクターがいる世界で。

しかし、少年はこの世界にある謎の野望に立ち向かうこととなる。

?この作品は作者の知っている作品のオーバークロス作品です。

その辺は温かい目で見てもらえるところらしいです。

プロローグ

少年は泣いていた。

白樂善太はくらくぜんたは泣いていた。

この世から離れていく悲しさから。

病室のベッドの上で、家族に見守られながら。

彼は生まれてからずっとベッドの上でずっと過ごしてきた。

治る見込みのない病気にかかってしまったせいで……

そして少年は短い人生を終えてこの世を去っていく……

悔いを残して死んでいく……

短くしか生きることのできなかつた自分に悔いを残して……

そんな彼に声をかける者がいた。

死んでしまった彼に向かって声をかける者がいた。

「善太、貴方の人生は終わったのではなく、始まりを告げます。」

そう、話しかけてくれたのは神様のような人だった。

と言っても、死んでしまったのだから神様だろう。

「人生を知らないで死んでしまったあなたに、一つだけ願いをかなえてあげましょう。」

そして、少年は口をあけ、言の葉を紡ぐ。

狭い世界で学んだ、言の葉を紡ぐ。

「だったら、アニメキャラクターに会える世界に行ってみたいです。」

「

少年は静かに言った。

少し、恥ずかしそうに言った。

「僕の狭い人生ではアニメとかしかなかったの。」

少年はどこか悲しげに言う。

少年は自嘲気味に言う。

「生き返らせて・・・とは言わないんですね。」

神は不思議そうに少年に問う。

「たぶん無理だと思ったからです。・・・だから、それをお願いします。」

少年は嬉しそうに、

けれど、どこか悲しげに答える。

「分かりました。それでは、これからの人生ががんばりなさい。」

少年は本当にうれしそうに眼を閉じる。

いつしか、彼の涙は笑顔に変わっていった。

少年の意識は薄れて行った・・・

これから向かう世界に行くために・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2700ba/>

Blanche espere -白の希望-

2012年1月6日22時46分発行